

令和4年度 第1回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和4年6月9日(木) 13:30 ~ 15:10
会議方法 Google Meetによるオンライン会議
出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 中島, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 小嶋, 藪田, 原田の各委員
陪席者 田中監事, 山根副学長, 後藤副学長, 岡田副学長, 安延副学長,
山口副学長, 岸本地域学部長, 中村医学部長, 坂口工学部長,
霜村農学部長

陪席者の紹介

議長より, 令和4年度より新たに就任した陪席者の紹介があった。

議事要旨の承認

前回(令和4年3月14日開催, 令和3年度第5回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 第3期中期目標期間業務実績報告書について

資料1に基づき, 昨年度終了した第3期中期目標期間のうち令和2年度以降の業務実績について, 各業務実績内容の詳細及び6月末までに文部科学省国立大学法人評価委員会へ報告書を提出する必要があることについて説明があり, 審議の結果承認した。

2. 令和3年度決算

資料2に基づき, 令和3年度決算について, 貸借対照表及び損益計算書等により決算の概要及び第3期中期目標期間最終年度にあたるため, 6月10日までに文部科学省へ提出する必要があることについて説明があり, 審議の結果承認した。

報 告

1. 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について

資料3に基づき, 第4期中期目標・中期計画のうち, 達成水準を満たした場合それ以外の評価指標が達成水準を満たした場合よりも高く評価する「意欲的な評価指標」として指定する方針が国立大学法人評価委員会より示されたことを受け, 現在意欲的な評価指標として申請を予定している各項目について説明があった。

2. 2022年度における国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等の確認・公表

資料4に基づき、「国立大学法人ガバナンス・コード」について、令和4年度より施行となる改訂内容、2022年度の適合状況等の確認及び公表に係るスケジュール案、7月上旬頃に委員に対して書面で意見照会を行う旨説明があった。

3. 鳥取大学職員給与規程等の一部改正

資料5に基づき、令和3年度第2回経営協議会において審議した令和3年人事院勧告に係る本学の対応方針に則り、「鳥取大学職員給与規程」及び「鳥取大学有期契約職員給与規程」の改正を令和4年4月13日に施行した旨報告があった。

4. 令和3年度資金運用実績

資料6に基づき、令和3年度資金運用実績について報告があった。

5. 令和3年度就職状況等

資料7に基づき、令和3年度就職状況及び本学卒業生の県内定着状況について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 近年は鳥取県内に就職した者の3年以内の離職率が非常に高い傾向にある。ライフスタイルの変化や就職先とのミスマッチ等様々な要因が考えられるが、大学として学生に対して就職活動のサポートだけでなく、県内定着に向けた指導なども検討してほしい旨発言があった。
- ◇ 離職の要因として、メンタルヘルスの課題も近年は増えてきている旨発言があった。
- ◇ ミスマッチを減らす対策として、企業の従業員と学生が直接相対し業務内容を話す様な機会を定期的に設けることが出来れば、双方にとってwinwinの関係が築ける旨発言があった。
これに対し、本学の取組として、各業種で働く若手社員を大学に招き、学生と直接対話する機会を設ける「つながるカフェ」の活動について紹介の上、引き続き企業側のニーズも取り込みながら取組を行っていく旨発言があった。

6. 令和4年度入試状況

資料8に基づき、令和4年度入試状況について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 理系学部における女性比率について質問があり、増加傾向にある旨回答があった。
- ◇ コロナ禍による経済的な困窮学生への対応等について質問があり、鳥取大学修学支援事業基金を活用した「とりりん奨学金」を令和3年度において280名分の臨時増額分を新設したこと、本学においては経済的理由により休学・退学する学生数は増加していない旨回答があった。

その他

資料9に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。

資料10に基づき、令和4年度第2回を9月26日開催予定である旨説明があった。